

私の本棚

中央図書館新着図書

「目撃者」

近藤純一著
(文芸春秋)

昨年1月、45歳の若さでがんに倒れた国際的ジャーナリストの未刊遺行集。新聞記事、ルポ、評論、エッセイ、創作の5部からなり、「目撃者」として現実を見続けた著者の軌跡をたどる。



一般書

◇海狼伝(白石一郎) ◇その時この人がいた(井手孫六) ◇美貌の青空(土方選) ◇焦土の野球連盟(阿部牧郎) ◇ハマトンの幸福論(ハマトン) ◇無名の盾(もりたなるお) ◇夢の木坂分岐点(筒井康隆) ◇ある中国残留孤児の場合(中野孝次) ◇降水確率(増田みづ子) ほか

児童書

◇美しい地球をよござないで(エクスレイ) ◇ムギの一生(鈴木公治) ◇悲しみのコタン(塩沢実信) ◇台風がやってきた(神戸淳吉) ほか

◆4月のテーマ関連図書コーナーは「春になると」です。

◆親子読み聞かせ会は

毎週金曜日 午後2時30分

◆中央図書館の休館日は

4月19、23、29日、5月3、4、5、17日



▶雪の羽州街道

大館が古くから米代川中流域の政治・経済・文化の中心として発展してきたことは今さら言うまでもない。それは米代川を下ると日本海側の能代・秋田へ、上ると鹿角を経て南部地方へ、北へ下内川を上ると津軽地方へと、古来、交通の要衝地であったことが大きな要因となっている。

近世、江戸時代には羽州街道・鹿角街道が、大館地方の基幹街道として発達、整備され、大館は久

久の波は遅れたとはいえ、六〇年代末には、国、県、市道の拡幅、改修、新設など、大館地方も新しい交通体系のもとに組み込まれた。車社会は、玄関口から玄関口への便利さ、快速さといった時間的経済性が社会の求めと表裏一体となりながら、以後、ますます車のための交通路の発達をうながしていった。バイパス、高速道の新設など、車専用の路線開発が急速に進められ、それに伴い生活圏、生活空間も急激な変貌を遂げ、七〇年

本年は、断片的あるいは道としては分割的ともなるかも知れないが、忘れられ、忘れられようとしている道を、その道にまつわる史的事柄などもまじえて訪ねてみようと思う。(市役所史跡探訪会)

保田藩の北の玄関口として、一方では抑えの地として重鎮であった。その地位は現代においてもけつして失われてはいない。

しかし、一九六〇年代に入つてからの車社会の発達、いわゆるモータリゼーション時代の到来は、日本の交通体系を一変させた。そ

の波は遅れたとはいえ、六〇年代末には、国、県、市道の拡幅、改修、新設など、大館地方も新しい交通体系のもとに組み込まれた。車社会は、玄関口から玄関口への便利さ、快速さといった時間的経済性が社会の求めと表裏一体となりながら、以後、ますます車のための交通路の発達をうながしていった。バイパス、高速道の新設など、車専用の路線開発が急速に進められ、それに伴い生活圏、生活空間も急激な変貌を遂げ、七〇年

大館の歴史散歩

峰・坂
里の道①

代以降、生活形態は車と切り離して考えられなくなり、都市景観は車社会に即応しつつ変貌した。このような生活空間の利便さの追求の結果、時代に適応できず、草木が繁茂し手入れ補修が施されない、人々から忘れられた道があちこちに生まれた。

近年、あまりに、独善的で無味乾燥な、人間の入り込む隙のない車道路に対し、自然との対話を求め足で大地を確認しながらゆっくりとくつろげ、さらに人間性をとりもどそうという意図に、車を締め出した自然道が各地に生まれ、そこには車社会から忘却された道の復活が図られている。もつとも自然道へ辿りつくまでの交通は車であることの皮肉な一面もあるが、今後の自然体系と機械文明の共存共榮の試行でもあろう。

ミニバイク実技講習



4月から原付免許学科試験を受験する方は、大館地区二輪推進委員会(大館地区交通安全協会内)の実施する原付安全技能講習を受け、「原付安全技能講習終了証明書」を添付しなければならなくなりました。実技講習は2時間30分で、次の会場で行います。

◆実技講習

- ・毎月第1日曜日 北部自動車学校
- ・〃 第3日曜日 大館自動車学校
午前9時受け付け

◆受講料 2,500円

◆申し込み 平日は大館地区交通安全協会窓口、講習日当日は実技講習会場で申し込んでください。

大館さくらまつり

◆5月3日(日)	9時・秋田犬保存会本部展 (桂城公)
◆5月4日(月)	11時・ミス杉の子撮影会 (桂城公)
◆5月5日(火)	13時・歌謡みちのく大競演会 (450円・体育館)
◆5月6日(水)	13時・秋田県声良鶏展覧会 (桂城公)
◆5月7日(木)	13時・ジャンボジョンケン大会 (桂城公)
◆5月8日(金)	13時・ロックフェスティバル (桂城公)
◆5月9日(土)	14時・子ども曲げわっぱ太鼓 (桂城公)

※「さくらまつり」プログラムは都合により一部変更になることもあります。